



「復興と進化」が実感できる年に

鏡石町長 遠藤栄作

あけましておめでとうございます。町民の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素は町政に対する温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

東日本大震災から3年9ヵ月あまりが経過いたしました。復旧・復興事業については全力で取り組み、復旧事業は概ね完了となりました。今後は復興事業及び防災対策に鋭意努力してまいります。町では、第5次総合計画におけるまちの将来像「かわる、かがやく、牧場の朝」のまち かがみいしの具現化に向け、「やさしさとふれあい」「復興と進化」を基本理念としてまちづくりを進めてまいります。本年もまちの将来像実現のため、震災からの復興、さらに一歩先を目指した施策を5つの目標に掲げ、町民と行政が一体となったまちづくりを推進していく所存であります。

さて、復興のシンボルとしていた第一小学校校舎新築事業につきましては、昨年二月末に完成し、仮設校舎で学校生活を送っていた子どもたちも、3学期中には新しい教室で勉強することができました。そして、11月8日に総合落成式を行うことができましたことは、大きな喜びとするところであり、これからの復興への大きな活力ともなりました。

改めて新校舎建設にあたり深いご理解とご支援、ご協力頂きました多くの関係者の皆様、そして、建設にご尽力頂きました皆様に、心より感謝を申し上げます。

本年は、復興のための事業として、被災者の生活再建のために「災害公営住宅」を完成させ、「鏡石中学校の耐震補強・大規模改修」を実施し、復興を確実に実現させる年にしたいと思っております。また、進化のための事業として、「駅東第一土地区画整理事業」「第5次上水道拡張事業」「農地のほ場整備事業」「農産物の6次化等の取組」「4年目を迎える田んぼアート事業」などを推進したいと考えております。

これからも町民の福祉向上に最善を尽くしてまいりますので、格段のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



鏡石キャラクターでブランド『力』を

鏡石町議会議長 渡辺定己

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、目まぐるしい社会情勢の中にあっても力強く、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から議会活動に、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、東日本大震災から4回目のお正月となりますが、福島原発事故による放射能問題については未だ、廃炉に向けた工事ははじめる多くの問題が指摘されており、それぞれに不安な気持ちのまま、新年をお迎えになられた方もいるのではないのでしょうか。

町内の災害復旧状況をみると、第一小学校の新校舎完成を筆頭に、ふれあいの森や鳥見山公園多目的広場のリニューアルそして児童ふれあい交流館建設と、復旧から復興に向けて大きく前進していると感じているところであります。

町議会としても震災以後、町民の皆様とともに安心安全のまちづくりに取り組むべく、復旧関係予算につきましても、果敢なく臨時議会等により対処してまいりました。またこの間、鏡石町初となる『日曜議会』や『子ども議会』を開催し、議会の活性化と開かれた議会を目指して議員活動に努めてまいりました。あれから早いもので、本年は議会改選の年になります。9月までの任期となりますが、最後まで町執行や関係機関へ町民皆様方の生の声をお届けできるように、議員活動に努める所存であります。

昨年の年頭のごあいさつでは、お正月の初夢に『かがやく鏡石のゆるキャラ』が現れ、それが現実のものとなることを祈念すると書きましたが、それが現実のものとなり、鏡石町のイメージキャラクターが生まれたことは、誠に喜ばしい限りであります。このキャラクターが今後活躍し、鏡石ブランドの確立と推進に『力』を注いでくれることを切望するとともに、『鏡石ブランド力』のアップを期待するものであります。

年頭に当たり、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今年もより一層のご支援を、お願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。